

日本共産党浦和区後援会ニュース
2016年8月号・62
浦和区北浦和3-14-16
TEL/FAX 048-833-4515
***** (部内資料) *****

日本共産党

うらわ宿

浦和区後援会の皆様へ



暑い最中の、熱い応援、本当にありがとうございました。力及ばず、申し訳ありませんでした。改憲勢力が3分の2の議席を占めた重大な情勢のもと、皆さんと力を合わせて、あらたなたたかいを開始します。

今回の選挙は、「野党共闘効果」を実感しました。「よくぞ英断してくれた」という激励が、ビックリするほどの広がりでした。埼玉選挙区では生活の党が「推薦」し、小沢代表が志位委員長と共に応援スピーチをしていただきましたが、かなりの衝撃波でYouTubeの録画視

聴は1万近くにもなりました。こうした動きと一体に、市民の自主的・自発的な活動も広がりました。Twitter上では作家の中沢けいさん、盛田隆二さんらも「私も熱烈応援」と投稿されましたし、中沢さんは飛び入りスピーチもしてくれました。「Twitterを見てきました」と駅で飛び入りでピラ配布してくれた方、電話かけを手伝ってくれる方も、次々現れました。「市民+野党」で大きな財産を得ましたし、今後に生かしていく決意です。

「憲法隠し」に終始した選挙戦の後に、改憲に突き走ることは断じて許されません。「市民+野党」をさらに力あるものに発展させつつ、憲法守り生かす闘いに全力をあげます。

日本共産党県民運動委員長 **伊藤岳**

参院選

野党共闘11選挙区で勝利！ 共産党改選議席倍増の6議席！

参院選の前進と新たなたたかいは

日本共産党浦和区委員会

後援会のみなさん。『うらわ宿』をお読みいただいているみなさん。参議院選挙へのご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

参院選の結果は、日本共産党が、比例代表で得票数・率とも伸ばし5議席、選挙区では東京で議席を得て、改選3議席に対し、6議席への倍増。32の一人区では、11の選挙区で野党統一候補が勝利しました。埼玉選挙区では、伊藤岳候補が、13万票の得票増で過去2番目の得票を得ながら、議席には及びませんでした。浦和区では、比例票を1万票台に乗せ、選挙区で伊藤岳候補を、自民関口氏、民進大野氏に次ぐ第3位に押し上げ、さいたま市10行政区の伊藤岳比較では、浦和区が得票数で1位、得票率では2位へ前進しました。

そこには、後援会の方など、多くの方々の

ご協力がありました。声の全戸訪問で電話をかけた続けられた方、暑い中全戸ピラ配布に汗を流してくれた方、快くポスター掲示に協力してくれた方、少しでも役に立てばと、宣伝カーの運転など率先して取り組んでくれた方、更に、スタッフへの食事の準備など多くの方々のご協力をいただきました。改めて感謝を申し上げます。

後援会のみなさん。『うらわ宿』をお読みのみなさん。浦和区委員会は、今後ともみなさんと共に手を結び、公約の実現、特に改憲勢力が国会の3分の2を占める中、野党と市民の共闘を強め、安倍自公政治の暴走を阻止し、平和と明るい未来実現のため奮闘する決意です。



最後に、この希望ある社会をつくる運動に参加していただくこと、また、しんぶん「赤旗」日刊紙・日曜版をまだお読みでない方は是非ご購読をお願いし、御礼とご報告とします。

「海人の約束」を観て

社会派演劇集団「花鳥風月」(主宰、山内大典さん。浦和区在住で清水マリさん(ご子息)の復活公演「海人の約束」(うみんちゆの約束)を7月22日、日暮里d倉庫で観た。昨年、マイナンバー制度の危険性を大胆に取り上げた「零のナンバー」を観た時の感激が今も残っており、今年は難しい沖縄の問題をどう扱うのか大変興味があった。

米軍の辺野古移設に反対する民宿「美ら海」を営む若い夫婦、兄弟、友人たちにも反対運動にはさまざまな考えの人がいた。そこに東京から若い3人の客がやってくる。復活開演のため格安な価格に魅かれて来たのだが、半信半疑のまま宿泊する。だが、次第に人間味あふれる民宿の人たちや、宝のような海を守ることの大切さ、移転計画の現実を知ってくる。反対運動の行方を見守るジャーナリストが現れたり、自然栽培の農民やビジネスライクな旅行案内人や謎のシーサーなどが現れてとにかくドラマはにぎやかにテンポよく展開していく。そしてホロリとさせる大団円の結末。一瞬、井上ひさしの芝居を思い浮かべた。

それにしてもこれだけのシナリオを書いて演出する山内さんはどういう方なんだろうかと興味津々になる。次は改憲問題や、貧困・格差問題、政治的無関心の問題などを取り上げてほしいと勝手に想像してしまおう。そして是非浦和でも数日上演して欲しいと思う。(前地三・古澤)

耳より情報

第3回福島を知るバスツアー

9月25日(日)
出発: 午前6時50分 駒場サッカー場前
参加費: 6000円(昼食は各自持参)
連絡先: 鳥海(048-885-0098)
竹内(048-886-6793)

後援会暑気払い

8月20日(土) 14時~16時半 コラボ
共産党綱領学習会 主催浦和区後援会
9月17日(土) 14時~16時
コラボ
講師 富樫練三さん



うらわだいい

政治の技術
世論を改憲に誘導する
ウソとだましの
究極のテクニク

—アベ語録解説書
(東口・さぶろ)

アベノミクス効果
0.1です

—庶民

(岸町・佐久間純)

川柳

戦後は終わっていないぞ不発弾
甘利さんアナタの疑惑忘れない
この道は戦争の道許さない

(岸町・ダン吉)

俳句

雨上がる窓を放ちて冷奴
牛蛙呻きに似たり木下陰
あやめ立ち濃紺水面に映しけり

(岸町・佐々木幹広)

鴉らの低空飛行あの八月
八月や学徒の叔父に誓ふこと
水くれよのうと舞う能「原爆忌」

(前地三・素見礼)

手作りの箸と箸置き夏料理
盆路をつくる一番星の下
脚一本浮きて安定茄子の馬

(本太一・YY)

うらわ宿文芸

《編集後記》

投票先を選ぶ指標は社会保障、経済政策、憲法改正、外交安保、原発などであった。今回は自公与党と野党4党の争点がかみ合わず霞んでしまった。自公与党はアベノミクスを前面に出し、破綻しているにもかかわらず「アベノミクスは道半ば」と言葉巧みだ。加えて4党共闘を野合、野合と舌鋒鋭く非難した。4党共闘は安保法制の廃止、立憲主義の回復を掲げてストップ安倍政治を前面に出して選挙に臨んだ。全国32の選挙区で共闘して11の選挙区で勝利することができた。前回に比べ大健闘した。最初にチャレンジャーとしては大きな成果をあげた。今回注目されたのは18歳、19歳の若者に選挙権を与えたこと。学校で選挙に関心を持たせたイベントがあつて、20代よりは投票率が高かったが、平均には至らなかった。棄権するよりはまず投票をしたことは明るいことだ。20~30代が与党を支持したのは少々驚いた。高知・徳島の合区は低い投票率で課題を残した。共産党は改選3に対して、6名が当選し、6百万票もの得票を得た。日常の地味な努力もさることながら党名変更をしない94年の重みだ。ともあれ改憲勢力を3分の2以下にできなかったことはマスコミの酷評を免れえないうが決して暗い将来ではない。次の国政選挙にも野党共闘の実現を期待したい。(幹)

G9サポーターズ(伊藤岳勝手連)で活躍されてきたN郎さんに、参院選を振り返っての感想を質問形式で原稿を寄せていただきました。

——勝手連という共産党組織とは異なる角度での選挙活動だったと思います。率直な感想をお願いします。

共産党さんの枠組みがないため、党の方針や、やり方に縛られることはありませんでした。その分、市民グループとの連携がやりやすそうに見えたかと思いますが、伊藤岳さんという特定の候補者の応援ということで、市民グループなどからは少し距離を置いて見られていたように思います。選挙期間中は市民グループや個人の方もどんどん関わってきましたが、それより前は、敷居が高い

ように思われていたようです。党外の人と、党の人との距離感は、より一層なくしていく必要があると思います。

伊藤岳さんは当選には届きませんでした。票を伸ばしたことは事実です。我々勝手連がどれだけ票の増加に貢献したかは不明ですが、話題づくりや、伊藤岳さんご本人や支持する方々を元気づけてきたということは感じました。

——私たちは浦和区しか見えないのですが、全県を回っての感想はいかがでしたか。

選挙後、飯能の共産党さんのパーベキューイベントに参加した際、飯能の方々は、日ごろの活動が大事で、さらに票を伸ばすためには

保守層により一層食い込んでいく必要があると発言されていました。まったくその通りで、飯能の方々の意識は相当進んでいると感じました。浦和区や緑区の方々もそうだと思いますが、共産党の方々が真剣にかんばられている地域では確かな結果が出ていると思います。その一方、共産党が弱い地域があることも事実であり、市区町村の枠を超えて情報交換や交流をさらに活発にしていく必要があると思

と同じような怒り口調で訴えてどれだけ効果があるのか?逆に街の雰囲気をごち壊しているのではないかと?そういった空気を読まない言動が政治を遠ざけている理由の一つではないか?という疑問を持ちました。話の内容は怒りでよいですが、口調は落ち着いてなければなりません。知らない人、感心のない人に対する訴え方が、市民グループを含め、改善すべき点が大きいと感じました。

共産党の支持を訴える演説の場合も党の方針をただただ説明するような演説では、これもまた街ゆく人に聞く耳を持たれていないように感じました。個人の体験や、社会の事象から、人の共感を呼び起こすような演説手法を用いていかないと、時間と労力を無駄に使うだけになってしまった。どうやって人

の心を動かすのか、その技法について、より一層の工夫が必要と感じます。

共産党のみなさんが、さらに活発になっていくことを期待します。最大の課題である高齢化問題については、いろいろ試行錯誤を繰り返しながら、何とか改善して欲しいと思います。



います。さいたま市でも浦和区や中央区、緑区で勝っていても、さいたま市全体では負けている。浦和区の方々には、負けている区についても積極的に支援していったらいいと思います。

——共産党への意見がありましたらお願いします。

従来の街頭宣伝のやり方について改善したほうがよいとの意見をよく耳にしました。具体的には、応援演説は短くすべきとか、街ゆく人を振り向かせる工夫が必要とかいうような意見です。

また、自分の意見として、演説の口調が怒り口調中心であることに違和感を持つことが多かったです。休日の街を歩く人に、国会前



——ミュージシャンとして政治へのかわりについて、そして今後の活動について。

今回驚いたことの一つは、東京の、比較的若い市民運動の人たちの中には、政治的な主張ばかりではなく、音楽的にも画一的なものしか認めず、それを他者に押し付けようとしている人たちが少なからずいることに驚きました。音楽を政治の道具としか考えないような人たちに文化を語ることは不可能であり、また、音楽は画一的なものとは相反する文化であり、多様です。民主主義や自由という観点からも彼らの発想は逸脱しています。

その一方、普通のアマチュアミュージシャン達は政治的なことは一切発言しない。どこまでも無関心を装っています。

どちらも文化的に未成熟な状態だと思います。埼玉県には優れた文化や市民運動の歴史があるわけで

すから、独自のアイデンティティで進むべきと思います。

伊藤岳さんの選挙のために作った曲「作ろう未来、埼玉」で、作ろう未来、埼玉、育てて行こう民主主義・・・まさにこれからだと思います。埼玉県における平成デモクラシーは、今回の伊藤岳さんの選挙で大きくスタートし、そしてこれからの一人一人の活動にかかっているんじゃないでしょうか。

自民党による憲法改悪が、目の前で、現実味を帯びてきました。今回の選挙は終わりましたが、状況はより一層厳しくなっています。だからといって平和運動や護憲運動、理不尽なものに対する闘いばかりしているわけにはいかないという人が大半だと思います。各自がそれぞれの活動を盛んにすることによって、運動も自然に広がっていくという方向が望ましいと思います。



そのためには、「楽しい」ということは大事なキーワードです。関わる人たちに楽しみを作るということは何事においても基本だと思います。

N郎さん、そしてG9勝手連の皆様、長い活動期間のご支援、本当にありがとうございました。これからも連帯して頑張っていきたいと思います。

戦争体験を語る

小野崎栄治(領家在住)



私は大正14年生まれ、91才です。秋田県の羽後町に8人兄弟の5番目として生まれ、中学1年生の年、口減らしで東京の親戚へ預けられた。昭和18年、太平洋戦争の兵員不足を補う学徒動員が行われたが、1歳違いで召集を免れた。しかし、翌年更なる兵士動員で、徴兵年齢が19歳まで下げられ、召集を受けた。昭和19年暮れ、青森県弘前市の部隊に輜重兵として配属された。軍事物資を輸送する部隊だが、トラックもなく、馬で運ぶという状況だった。馬の蹄鉄掃除できれいになつていないと舐めると言われ、「お前らは一銭五厘でいくらでも呼べるが、馬は大事な戦闘員で、高いんだぞ」と人間扱いされなかつた。少し経ったら、「お前ら、航空兵に配属変えになった」と言われ、

岩手県原野に連れて行かれた。近くの小学校を部隊の宿舎にして、原野の中に飛行場(滑走路)を作る仕事に就いた。道具はスコップと鎌である。百姓もたくさん動員された。物が無い。特に金属製品はなく、銃(三八式歩兵銃)すら6人に1丁という有様。飯盒もなく、小学校で炊いた飯を小さな柳行李の弁当に入れて運んでくる。ごめしかと思つたら蟻だつた。それでも、2000メートルの滑走路を造った。一度だけ不時着の飛行機が来ただけである。原野の中に偽装して造った滑走路だが、いつ発見されたのか、米軍の空爆を受けた。とにかく数人がけて必死に逃げた。滑走路に大きな穴が開いていた。運悪くやられて亡くなった者が横たわつていた。この時ばかりは、これが戦争かと恐ろしくなつた。兵隊に召集され、僅か半年の体験であるが、命令に従う生活、下級兵士には情報が入らない、新聞も読めない、悲惨な東京大空襲や広島・長崎の原爆は戦争が終わつてから知つた。戦争の愚かさ、非人間的扱い、そして最たる自然破壊を体験し、若い人達には、平和の尊さをぜひとも考えて欲しい。